

AI活用アルバム作成

プリント写真データ化

良かったりする写真を選別させ、同社のデザイナーがレイアウトしてアルバムを完成させる。

AIは、同社が県立大情

デザイン会社のバサラ（岡山市北区今）は、プリントされた写真をデジタルデータ化し、アルバムに仕上げるサービスを展開している。岡山県立大（総社市窪木）と共同開発した、写りが良い写真を自動選別する人工知能（AI）を活用。作業の効率化を図っている。



モノクロ写真のアルバム（下）をデジタルデータ化して作成したアルバム

報工学部に協力を依頼し、2017年から約3年かけて開発した。笑顔の度合い

や鮮明さなどで点数を付けた人物や風景の写真約26万枚のデータを学習させ、選別する基準を持たせたという。

目。2020年10月から今回のサービスを始めた。遠部雅弘社長は「従業員は5人と少ないが、AIの活用で新たな事業に挑戦できた。自社サイトなどでアピールし、現在の2倍となる年間約600件の受注を「目指す」と話している。」

（小野寺万由子）

サービスマネージャーは「おくってフォトブック」。価格はハードカバーのA4判1冊（約180枚掲載）5万5千円など。写真はアルバムに貼った状態でも持ち込み、最大千枚まで対応する。

1994年設立の同社は、主に企業の広告用パネルや販促物のデザインを手がけている。新事業の創出に向けては、生前に身の回りを整理する「終活」に着